

【web 開催】 さすてな☆いきもの探偵団

ウメのはてな？を観察しよう！

ひ
 日にち

てんき
 天気

早春そうしゅんによい香りの花かお はなを咲かせるウメは、奈良時代ならじだいにはサクラよりも人気にんきのある花はなでした。花はなのあとに実みるウメの実みもおいしく食べられるので、私たちわたしの暮らしには欠かせない植物しょくぶつです。そんなウメのはてなをかんがえます。

今日のポイント

ウメはもともと日本にほんに 植物しょくぶつで、 から持ち込まれました。

現在の元号げんざい げんごう は、奈良時代ならじだいに行われた を記録きろくした文ぶんが
 き
 ら決められました。

ウメはいつごろ日本にほんに来たのかな？

昔むかしの人が生活せいかつしていた跡あとである「遺跡いせき」から、ウメの種たねが見つかっています。

縄文時代じょうもんじだいの遺跡いせきから見つかるようになりはじめ、弥生時代やよいじだいや古墳時代こふんじだいになると、

日本中にほんじゅうの遺跡いせきで見つかっています。

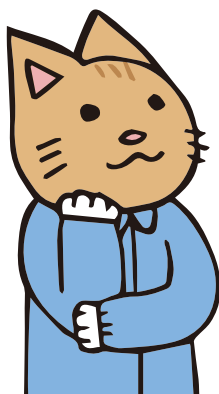
日本にほんで一番古いウメの「記録きろく」

天平2年てんぴょう ねん（751年）に、日本にほんで詠よまれた漢詩かんしをまとめた本ほん『懐風藻かいふうそう』が
 つくられました。この本ほんに、葛野王かどのおう
 という人がウメを詠よんだ漢詩かんしがまと
 められています。



日本語にほんごにすると、
 だいたいこんな内容ないようです。

白梅はくばいは白しろく開ひらいて咲さき、
 うつくしくかわいいウグイスは
 あでやかな声こえでさえずります。



いつ日本にほんに来たのか、
 はっきりした時代じだいはわからないけど、
 ずいぶん昔むかしに日本にほんにやってきたんだね。

たんていだん
さすてな☆いきもの探偵団
かんさつ
ウメのはてな？を観察しよう！



どうが
動画も観てね！

にわ き う
庭にウメの木を植えよう！

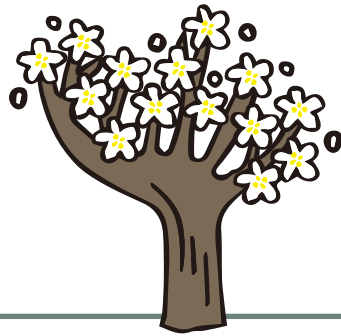
はる はな しょか み たの にわ う なが きかんだの
春には花、初夏には実を楽しめるウメは、庭に植えると長い期間楽しめますが、1つ
ひんしゅ う み いじょう ひんしゅ う ひつよう
の品種だけ植えてもうまく実がつかないので、2つ以上の品種をいっしょに植える必要
のあるものがあります。はな み たの ひんしゅ う ちゅうい
花も実も楽しむためには、どの品種のウメを植えるか注意して
えら
選びましょう。

ほん ひんしゅ う
1本（1品種）だけ植えるとき

ほん ひんしゅ う
1本（1品種）だけでも実のつく品種

えら
を選びましょう。

れい ぶんご
(例) 豊後
いなづみ
稲積
りゅうきょうこうめ
竜峡小梅



ほん ひんしゅ う
2本（2品種）以上植えるとき

どちらの木にも実がよくつくよう、相

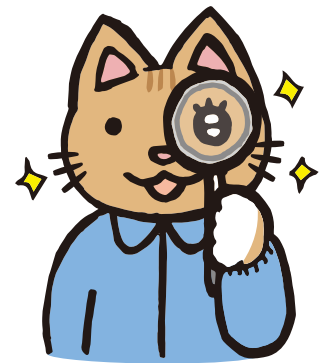
しょう よ ひんしゅ えら
性の良い品種を選びましょう。

れい なんこう と ばいごう
(例) 南高 と 梅郷
なんこう と つきせかい
南高 と 月世界
なんこう と こつぶなんこう
南高 と 小粒南高



まとめ

やく ねん むかし にほん りょう み くすり た
約1300年の昔から日本で利用されてきたウメ。実を薬や食べ
もの りょう
物として利用するだけでなく、はな はな とり み
花や花にやってくる鳥たちを見
たの わか よ せいかつ ばめん
て楽しんだり、和歌を詠んだり、生活のいろいろな場面でそ
めぐ みじか みなお
の恵みをもたらしています。身近な暮らしを見直してみれば、い
ろいろないきものや植物の恵みに気が付くことができるかも？
ほか うち さが
他にどんなものがあるか、お家でも探してみてくださいね。



さんこうしりょう
参考資料

- 「万葉集を知る辞典」桜井満監修・尾崎富義 菊池義裕 伊藤高雄 著 東京堂出版 2000.5.10
- 「万葉植物文化誌」木下武司著 八坂書房 2010.2.25
- 「たべもの起源辞典」岡田哲編 東京堂出版 2003.2.1
- 「日本の食文化5 酒と調味料・保存食」宇垣悟編 吉川弘文館 2019.4.10
- 「たべもの ことわざ辞典」西谷裕子編 東京堂出版 2005.4.20.
- 「育てて楽しむウメ栽培・利用加工」大坪孝之著 創森社 2015.2.18○「菅原道真 学者政治家の栄光と没落」滝川幸二著 中公新書 2019.9.14
- 「太宰府天満宮の謎—菅原道真はなぜ日本人最初の「神」になったのか」高野澄著 祥伝社黄金文庫 2002.10.1
- 奈良文化財研究所「なぶんけんブログ「梅のはなし（2018.4.18）」 <https://www.nabunken.go.jp/nabunkenblog/2018/04/20180418.html>
(閲覧日:2021.1.25)
- 国立歴史民俗博物館「日本の遺跡出土大型植物遺体データベース」 https://www.rekihaku.ac.jp/up-cgi/login.pl?p=param/issi/db_param
(閲覧日:2021.1.25)